

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公開番号】特開 2005-283594 (P2005-283594A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-040
 【出願番号】特願 2005-133649 (P2005-133649)
 【国際特許分類】

G 0 1 R 27/28 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 27/28 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 15 日 (2005.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

N 個のデータ $x(m)$ (ただし、N は 2 以上の整数であり、 m は 0 以上 $N - 1$ 以下の整数) に基づき、前記データ $x(m)$ に、 m に基づき定められる所定の係数を乗じたものの和である結果データ $X(n)$ (ただし、 n は 0 以上の整数) を導出するフーリエ変換装置であって、

任意の結果データ $X(n_1)$ (ただし、 n_1 は n のなかの一つの値) に関して、三個のデータ $x(m_1)$ 、 $x(m_1+1)$ 、 $x(m_1+2)$ (ただし、 m_1 は m のなかの一つの値) のそれぞれについて前記所定の係数を乗じたものの合計である第一合計結果を求める第一合計手段と、

他の結果データ $X(n_2)$ (ただし、 n_2 は n のなかの一つの値であって、 n_1 以外の値) に関して、三個のデータ $x(m_1)$ 、 $x(m_1+1)$ 、 $x(m_1+2)$ のそれぞれについて前記所定の係数を乗じたものの合計である第二合計結果を求める第二合計手段と、

を備え、

前記第二合計手段は、前記第一合計結果における項と前記第二合計結果における項とに共通する共通項を、前記第一合計手段から受けて、前記第二合計結果を求める際に利用する、

フーリエ変換装置。

【請求項 2】

被試験装置の応答特性を分析するためのネットワークアナライザにおいて、

印加された信号に対する被試験装置の応答をあらわす信号をディジタルに変換する変換器と、

該変換器に接続され、該ディジタル信号を周波数領域において処理して、該印加された信号に対する被試験装置の応答の、伝達関数を計算し、該計算された伝達関数に基づいて、該被試験装置のシミュレートされた信号に対する応答特性に対応する、周波数領域での信号を計算する伝達関数アナライザと、

該周波数領域信号を受け、該周波数領域信号を時間領域信号に変換する請求項 1 に記載のフーリエ変換装置と、

を備え、

該各離散的フーリエ式は得られた時間領域信号点に対応する、ネットワークアナライザ。